

再エネ関連に重点投資

三井住友ファイナンス&リース(SMFL)は子会社を通じて、再生可能エネルギー関連に重点投資する。太陽光発電所の新規開発や買収・出資を通じて、2025年までの早期に太陽光発電容量を現在比2倍の600メガワットに増やす。このための投資に約1000億円を見通す。同時に洋上風力やバイオマスなどの再生エネと海外展開に本格的に乗り出す。小売り事業への参入も視野に入れる。脱炭素の世界的な潮流の中で高まる再生エネ需要を取り込む。

SMFLの100%。現在は15位ほどの出資会社、SMFLみよつだ。らいパートナーズ(東 太陽光、他の再生エネ事業を拡充する。連・小売りの4分野を太陽光事業では、発電柱に取り組む。太陽光容量が600メガワットに事業はゴルフ場をはじめ、国内事業者で5割め大規模な用地を仕入れ級の規模になるとみられて発電所に転用す

SMFL

子会社 太陽光倍増、小売りも視野



る。21年度期初にはゴルフ場を再開発し、同設「延岡門川メカソーラーパーク」(宮崎県スアグリケータ、需門川町)を開業させ要家に再生エネを販売している。

る。21年度期初にはゴルフ場を再開発し、同設「延岡門川メカソーラーパーク」(宮崎県スアグリケータ、需門川町)を開業させ要家に再生エネを販売している。

ゴルフ場を再開発した「延岡門川メカソーラーパーク」SMFLは、太陽光発電設備のリースやプロジェクトファイナンスなどで顧客の再生エネ事業を支援し、知見を蓄積してきた。19年エネは風力や地熱、バイオマスを開始した。他の再生エネは風力や地熱、バイオマスを開始した。伝統的なリース事業は、国内市場の縮小や洋上風力発電に出資して得た経験を生かす。海外案